

静岡大学

施設長寿命化計画

個別施設計画

2019年3月



自由啓発・未来創成

静岡大学

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION SHIZUOKA UNIVERSITY



| | |
|-------------------------------------------|----|
| I. はじめに | 2 |
| II. 計画の範囲 | 2 |
| 1. 対象施設 【行動計画再掲】 | |
| 2. 計画期間 【行動計画再掲】 | |
| III. 目指すべき姿 【行動計画再掲】 | 4 |
| IV. 個別施設計画 | 6 |
| 1. 本学の個別施設計画の考え方 【行動計画再掲】 | |
| 2. 第3期中期目標・中期計画期間（2016-2021）の個別施設計画 | |
| (1) 計画の考え方（対策の優先順位、個別施設の状況等） | |
| (2) 個別施設計画 2016-2021整備計画表 | |
| 3. 第4期中期目標・中期計画期間以降（2022-）の個別施設計画 | |
| (1) 2022-個別施設計画（案） | |
| (2) 静大モデル①：長寿命化改修の可・不可の判断「健全性評価」 | |
| (3) 静大モデル②：個別施設の状況及び対策の優先順位の考え方「機能・性能等評価」 | |
| (4) 本学における施設整備の課題 | |
| ～100周年計画、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去～ | |
| 4. 施設整備費補助金による整備要求 ～築40年目長寿命化改修及び改築整備～ | |
| V. フォローアップ計画 | 16 |

I. はじめに

静岡大学は、「自由啓発・未来創成：質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学」を目指しており、目標を達成するために不可欠な基盤である多種多様な施設等を所有し管理している。

これらの施設は、大学の教育研究並びに地域社会への文化と科学の発信活動を支える重要な基盤の一角を形成するものであるが、その多くは昭和24年の静岡大学の創設に対応するために整備され、特に静岡キャンパスにおいては、昭和40年代に移転整備した建物等が建築後50年を経過し始め、経年25年以上の施設が約7割を占めるなど、老朽化が進行している。現下の厳しい財政状況の中、本学においてもこれらの施設を全て従来からの改築や大規模改修等の手法で対応していくことは困難であることから、点検により劣化、損傷等の老朽化の状況を的確に把握した上で、優先順位付けや予算の平準化、トータルコストの縮減等を加味した計画を策定し、同計画に基づき効果的・効率的に長寿命化を図ることにより、良好な状態の維持や安全性の確保に努めていく必要がある。

これまで、本学においては、大学施設について「静岡大学キャンパスマスタープラン」に基づいた計画的な施設整備を図るなど、老朽化対策推進に資する様々な整備に取り組んできたところである。他方、2012年（平成24年）12月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を受け、政府全体の取組として、国民生活や社会経済活動を支えるインフラに関する維持管理等の方向性を示す基本的な計画である「インフラ長寿命化基本計画」（以下「基本計画」という。）が、2013年（平成25年）11月に策定された（インフラ老朽化対策の推進に関する関係府省庁連絡会議決定）。文部科学省においても、基本計画を踏まえ、文部科学省が所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするため、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」（以下「文科省（行動計画）」という。）が、2015年（平成27年）3月に策定されている。

これらのことから本学としては、2017年（平成29年）3月に策定した「静岡大学施設長寿命化計画（行動計画）」（以下「静大行動計画」という。）に基づき、大学施設等の老朽化や人口減少等の状況を踏まえ、全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置に向けた取組を一層推進するものである。

なお、今後、各府省庁全ての機関の個別施設計画が策定された後、所管法人等に対し、対策推進に活用可能な財政的支援、技術的支援などについて様々な施策が出されることが想定されることから、本学においてもそれらの動きを注視するとともに、この個別施設計画においても柔軟な姿勢での対応が必要がある。

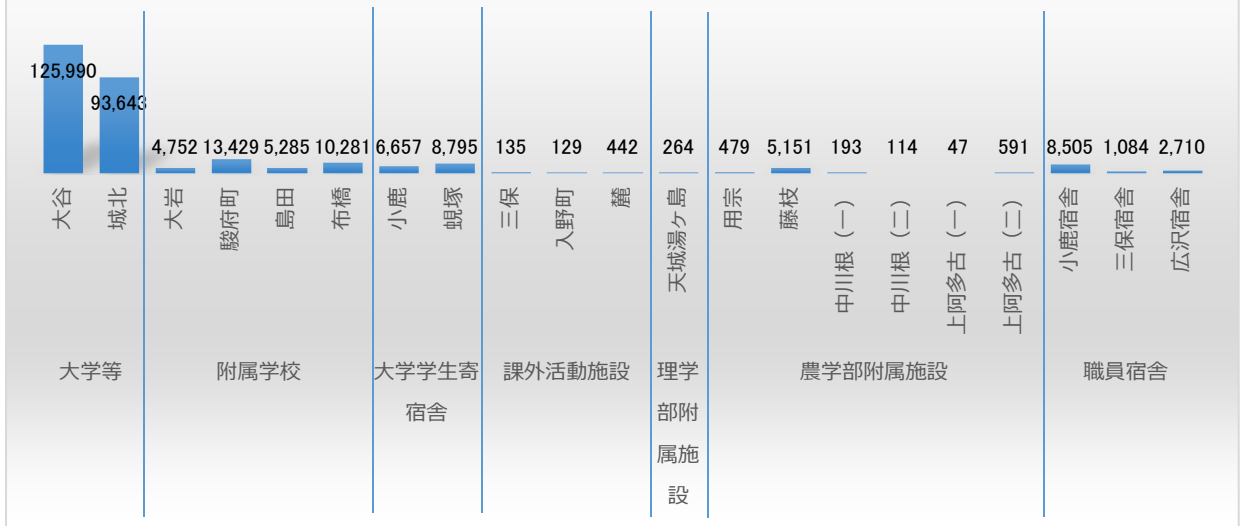
II. 計画の範囲

1. 対象施設

本学が所有又は管理する施設には、大学校舎、附属学校園校舎、図書館、体育施設等の学校施設があり、それらの設置形態、用途及び規模は多種多様であるが、静大行動計画においては、文科省（行動計画）を踏まえ、大学を利用する学生、教職員、地域の方々の安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化による維持管理等に係る中長期的な経費支出の低減を図る観点から、多数の利用者を受け入れることを目的とした以下の施設を対象とする。

団地別施設保有面積 (㎡)

(参考)



※ 大谷団地には、学生寄宿舍1棟(7,032㎡)と職員宿舎3棟(計4,993㎡)含む

(長寿命化計画の対象施設)

現在保有するキャンパス内の施設のうち、安全性、経済性や重要性の観点から、計画的な点検・診断、修繕・改修等の取組を実施する必要性を鑑み、下記①、②の条件に当てはまる施設を除外した施設を計画の対象とする。また、それらに附帯する設備及び基幹設備(ライフライン)を対象とする。

- ① 500㎡以下の小規模附属施設等を除く。
- ② 学生寄宿舍、国際交流会館及び職員宿舎については、自己収入を伴うため対象から除外する。また、今後、PPP・PFI等により民間資金等について活用することや保有規模の見直しを踏まえ計画対象への追加等を判断する。

全保有施設 21団地 260棟
288,676㎡

<① 500㎡以下の小規模建物の今後の取扱い>

維持管理は、施設等維持管理経費の修繕等必要経費の中で修繕・小規模改修に対応することとする。今後の少子化等の社会情勢を鑑み、改築整備等を進める場合において、これらの建物を集約化・複合化することを視野に入れながら保有面積の削減を検討する。

<② 学生寄宿舍・職員宿舎の今後の取扱い>

保有規模の見直し等を踏まえ整備計画を策定し、整備が必要な場合は、PPP・PFI等の民間資金等の活用について検討する。



【長寿命化計画対象施設】

計画対象施設 7団地 77棟
226,515㎡

+

基幹設備（ライフライン）

| 施設 | 棟数 | 床面積（㎡） |
|--------------------|-----|---------|
| 大学校舎等 | 53棟 | 177,677 |
| 大学図書館等 | 3棟 | 14,865 |
| 大学体育施設（課外活動施設含む） | 4棟 | 5,362 |
| 附属学校（幼1、特支1、小2、中3） | 17棟 | 28,611 |
| 総合計 | 77棟 | 226,515 |

※ 対象施設の整備には、下記の項目を含むものとする。

- ・屋上防水改修《15年》
- ・外壁改修《15年》
- ・照明設備更新《20年》
- ・空調設備更新《15年》
- ・消火ポンプ更新《20年》
- ・エレベータ設備更新（小荷物昇降機含む）《25年》

※ 《 》内は計画耐用年数を示す。

・自家用電気工作物

遮断器《25年》

変圧器《30年》

・高圧ケーブル設備《25年》

・低圧ケーブル設備《30年》

・電話ケーブル設備《30年》

・防災ケーブル設備《30年》

・情報ケーブル設備《30年》

・外灯設備《20年》

・市水給水管設備《30年》

・井水給水管設備《30年》

・ガス配管設備《30年》

・汚水、雑排水配管設備《20年》

・実験排水管設備《20年》

※ 《 》内は計画耐用年数を示す。

2. 計画期間

基本計画に示されたロードマップにおいて、一連の必要施策の取組に一定の目処を付けることとして2020年度を目安として設定しているが、静岡大学においては、国立大学法人中期目標・中期計画期間毎で区切ることとし、第3期中期目標・中期計画期間に当たる、2016年度（平成28年度）から2021年度までの6年間を「計画期間」とする。

但し、第4期中期目標・中期計画期間以降の計画については、財政的な制約や保全優先順位によるコスト平準化を踏まえ、**40年間の「全体計画」の想定に基づき、6年間の計画を「計画期間」として策定**する。

Ⅲ. 目指すべき姿

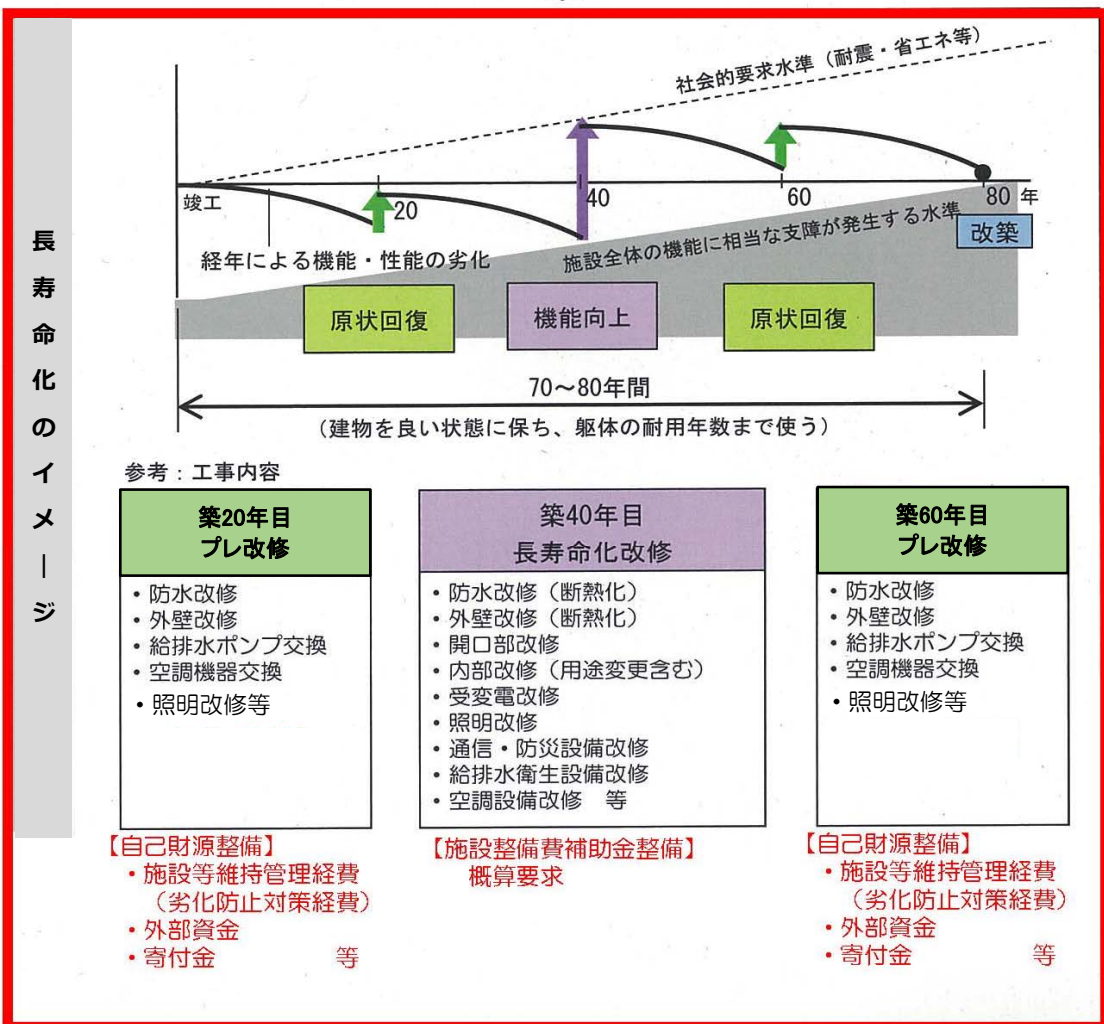
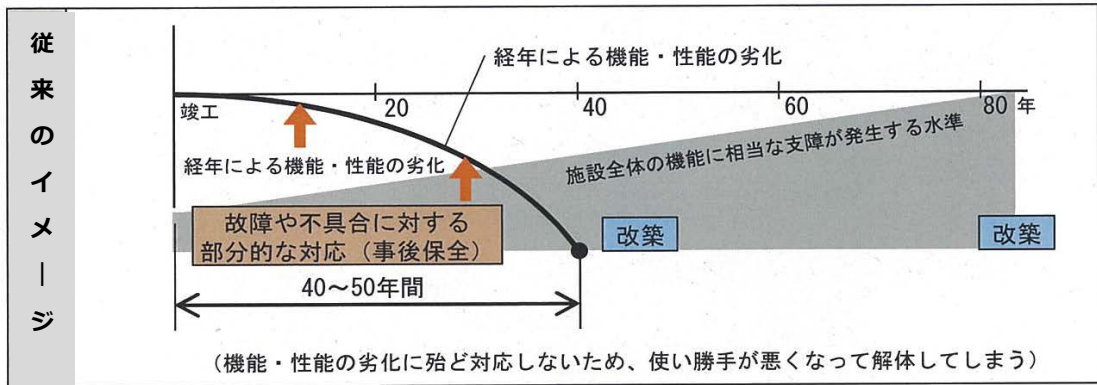
◆ 静大行動計画の対象施設は、今後急速な老朽化が想定される中、安全性の確保とともに大学施設としての機能確保も求められる。そのためには定期的に点検・診断を行い、その結果等を踏まえ、計画を策定、見直しすることにより、当該計画に基づいて日常的な修繕や大規模な改修等の対策を実施していくという「**メンテナンスサイクル**」を構築する。

(メンテナンスサイクル)



◆メンテナンスサイクルの着実な運用には、これまでの改築中心から長寿命化への転換【イメージ図参照】による中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減を図るとともに、行動計画・個別施設計画の策定を通じ、**予算の平準化**に努めることが重要である。このため、**補助金並びに自己財源等にて整備する項目を大学構成員が明確に理解できるよう計画し、確実に実施していく。**

【イメージ図】



◆本計画に際しては、確実な実施を図るための「必要な財源の確保」、少子高齢化等を見据えた「施設保有量の最適化」、多様な教育研究や学生のニーズに対応するための「施設の有効活用」、「既存施設の集約化、複合化」について、大学構成員の理解の下に実施する必要がある。

IV. 個別施設計画

1. 本学の個別施設計画の考え方 【行動計画再掲】

(1) 点検・診断、修繕・改修等

本学の**第3期中期目標・中期計画期間中**の施設長寿命化計画（個別施設計画）は、「静岡大学キャンパスマスタープラン2016-2021」における計画に基づき、静岡大学ファイナンシャルプランにおいて計画期間中に措置される予算（劣化防止対策費及び施設費交付金）を財源として、計画を見直すことにより個別施設計画とする。

また、**第4期中期目標・中期計画期間以降の個別施設計画**の策定については、原則として別記の**判断フローに基づき仕分けることにより、建物個別の整備方針を決定**する。なお、**経年35年以上となる建物**については、老朽度合いを評価するために策定した『静大モデル』にて設定する「健全性評価指標」により、**建物の構造躯体が健全であり長期に使用することが可能と判断した場合に『長寿命化改修』を行う**。なお、経年の状況によっては、『長寿命化改修』を行わず、『60年プレ改修』又は『改築』の判断をする。

また、健全性評価指標により仕分けた結果、同じ判断となった建物については、『静大モデル』にて設定する「機能・性能等評価指標」により、「優先順位」を決定する。

◆個別施設計画の考え方（まとめ）

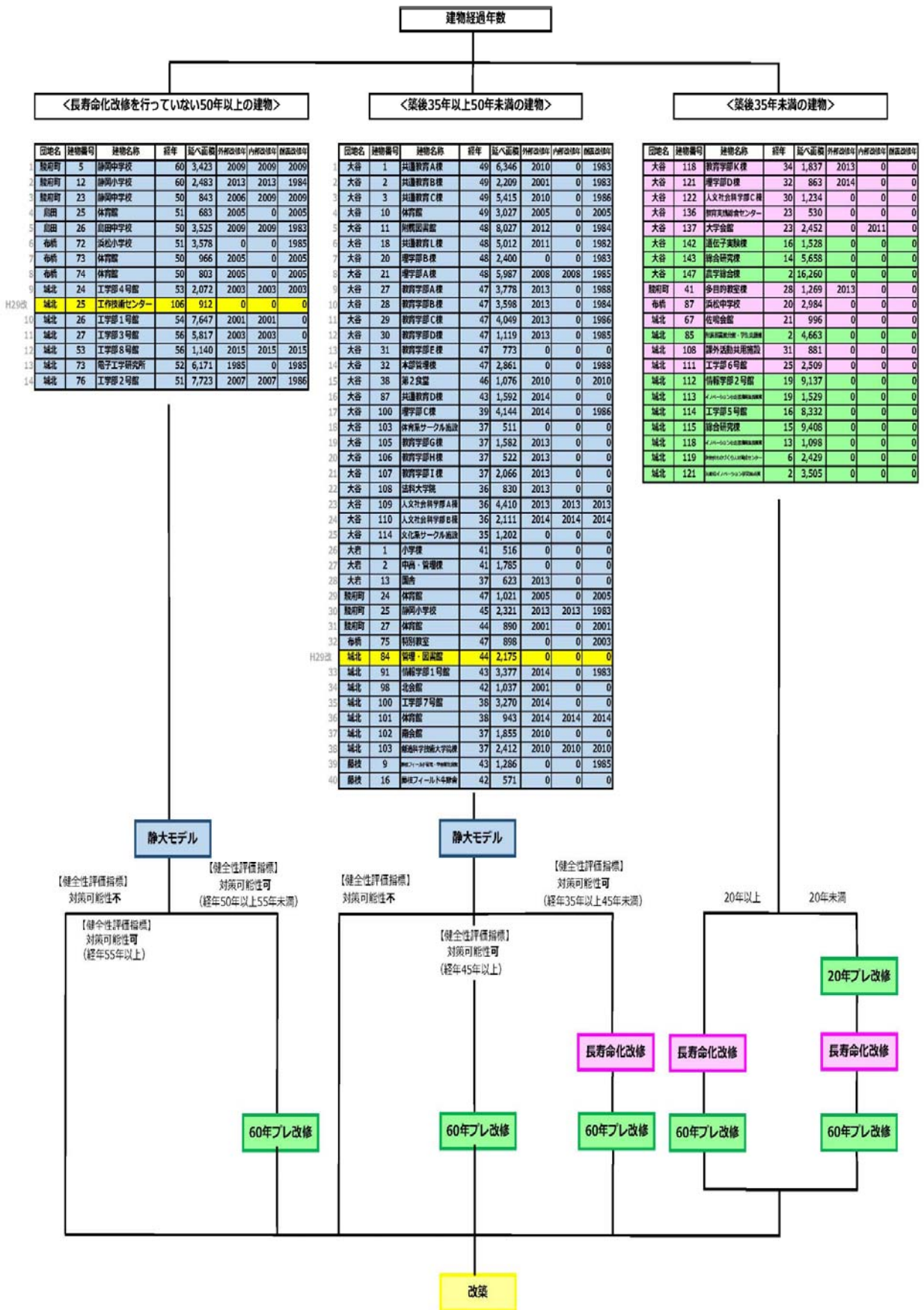
第3期中期目標・中期計画期間（2016年度（平成28年度）～2021年度）

キャンパスマスタープラン2016-2021の計画を基本として、個別施設計画を策定する。

第4期中期目標・中期計画期間以降（2022年度～）

静大モデルを組み込んだ個別施設計画判断フローに基づく再評価により、キャンパスマスタープランの見直し並びに長寿命化を図る。

◆静岡大学施設長寿命化計画（個別計画）の判断フロー



◆ 本学における『長寿命化改修』及び『プレ改修』の定義

【長寿命化改修】

建物全体の物理的な不具合を直し、建物の**耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校において求められている水準まで引き上げる改修**

■ 耐久性・性能を高める改修

- ・ 構造躯体の経年劣化を進行を防止するもの（コンクリートの中酸化対策や鉄筋の腐食対策等）
- ・ 耐久性に優れた仕上材へ取り替えるもの
- ・ 維持管理や設備更新の容易性を確保するもの
- ・ 水道、電気、ガス管等のライフラインの更新

■ 機能や性能を引き上げる改修

- ・ 間仕切変更等の機能・性能向上を図るための内装改修

【プレ改修】

経年による**機能・性能の劣化した部分を原状回復するための予防保全を含めた大規模改造**

■ 機能・性能の劣化した部分の予防保全的な改修

- ・ 防水改修、外壁改修、共通部分床壁改修、便所改修、照明更新、空調更新 等

◆ 『静大モデル』における評価

『静大モデル』の評価は、2つの評価に分かれており、「**健全性評価**」は【長寿命化改修の可・不可の判断】、「**機能・性能等評価**」は【経年35年以上建物の長寿命化改修・60年プレ改修・改築の整備優先順位】を判断する指標として評価するものである。

健全性評価

: 長寿命化改修の可・不可の判断をする指標

【評価対象】

経年35年以上の鉄筋コンクリート造の建物

計52棟（但し、H28年度改築予算化済みの2棟は除く）

【鉄骨造（渡り廊下含む）は別の方法にて判断する。】

【評価項目】

A. 鉄筋の腐食度

: 柱、梁の鉄筋腐食度を下記の表による3段階で評価する。

◆ 鉄筋の腐食度判定

| グレード | 基準 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I | さびがほとんど認められない。 |
| II | 部分的に点食を認められる。 大部分が赤さびに覆われている。 |
| III | 亀裂、打継ぎなどに局所的な断面欠損がある。 層状さびの膨張力によりかぶりコンクリートを持ち上げている。 断面欠損は目視では認められないが、鉄筋の全周辺又は全長に浮きさびが生じている。 |

出典：学校建築の耐力度測定方法及び建築物修繕措置判定手法

B.コンクリート圧縮強度 : コンクリート圧縮強度が設計基準強度を満たしているかを判断する。圧縮強度は、構造上主要な部分である梁、壁のうちから健全に施工された部分について建築年が異なる毎に、それぞれ、4箇所以上で圧縮強度試験を行い、その平均値により評価する。なお、採取コアは、2017年度（平成29年度）以降に実施する新たな調査結果を用い評価する。

C.コンクリート中性化深さ : コンクリート中性化の進行は、一般的に経過年数の平方根に比例し、下式にてあらわすことができる。この式により中性化係数を求め、これと鉄筋のかぶり厚さの最小値から目標使用年数を求める。中性化深さは、当該建物の柱頭1箇所、柱脚1箇所、梁2箇所について測定を行い、その平均値を評価する。なお、鉄筋のかぶり厚さも中性化と同様の位置にて、平均値を評価する。

◆中性化の理論式 (JASS 5 2009年版)

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| $C = A \cdot \sqrt{t}$ | C : 中性化深さ (mm) |
| $A = C \div \sqrt{t}$ | A : 中性化係数 |
| | t : 経過年数 (年) |
| 目標使用年数 $T = (d \div A)^2$ | d : 鉄筋のかぶり厚さ (mm) の最小値 |

D.目視調査 : 外壁等のひび割れや不同沈下量等を目視調査することで、鉄筋露出、ひび割れ等の顕著な劣化の有無を評価する。

機能・性能等評価

: 静大モデルの長寿命化可否判定フローで判断した整備の優先順位を決定する指標

(対象建物を100点満点で点数化し、点数の高い建物が、優先順位 **高**)

【評価対象】

静大モデルの長寿命化可否判定フローで「長寿命化改修」、「60年プレ改修」、「改築」と判断された経年35年以上の建物

【鉄骨造（渡り廊下含む）は別の方法にて判断する。】

【評価項目】

A.法12条点検等評価【点検評価点】

: 法12条点検結果等を分析し、躯体以外の下記10項目について評価基準に基づきA～Cを評価し、点数化することにより劣化評価を行う。

- ・屋根、屋上
- ・外部（外壁等）
- ・外部開口部
- ・外部その他（地盤等）
- ・内部（躯体等）
- ・内部その他（既存不適格）
- ・電気設備
- ・給排水設備
- ・その他設備（便所改修）
- ・消防点検

(評価基準)

A：健全な状態で良好、安全上、機能上に大きな問題なし【0点】

B：安全上機能上、低下の兆しがある【1点】

C：安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある【2点】

※満点は2点×10項目＝【20点】

B.建物機能劣化評価【修繕費】

：過去3年間の修繕費の合計を延べ面積で除した金額を算出し、下記の評価基準により点数化し評価する。

(評価基準)

A：1,500円/㎡未満【0点】（500円×3年）

B：1,500円/㎡以上3,000円/㎡未満【10点】（1,000円×3年）

C：3,000円/㎡以上4,500円/㎡未満【20点】（1,500円×3年）

D：4,500円/㎡以上【30点】

C.地域重要度評価【避難所指定】

：地域において有事の際に避難所として利用することについて、特定行政庁等と協定を結んでいる建物を点数化し評価する。

(評価基準)

避難所指定：なし【0点】

避難所指定：あり【20点】

D.機能・性能向上度評価【建物内部耐震壁の有無】

：長寿命化改修の定義として、「建物の機能や性能を現在の学校において求められている水準まで引き上げる改修」としていることから、間仕切変更等の機能・性能向上を図るための改修ができない建物を点数化し評価する。

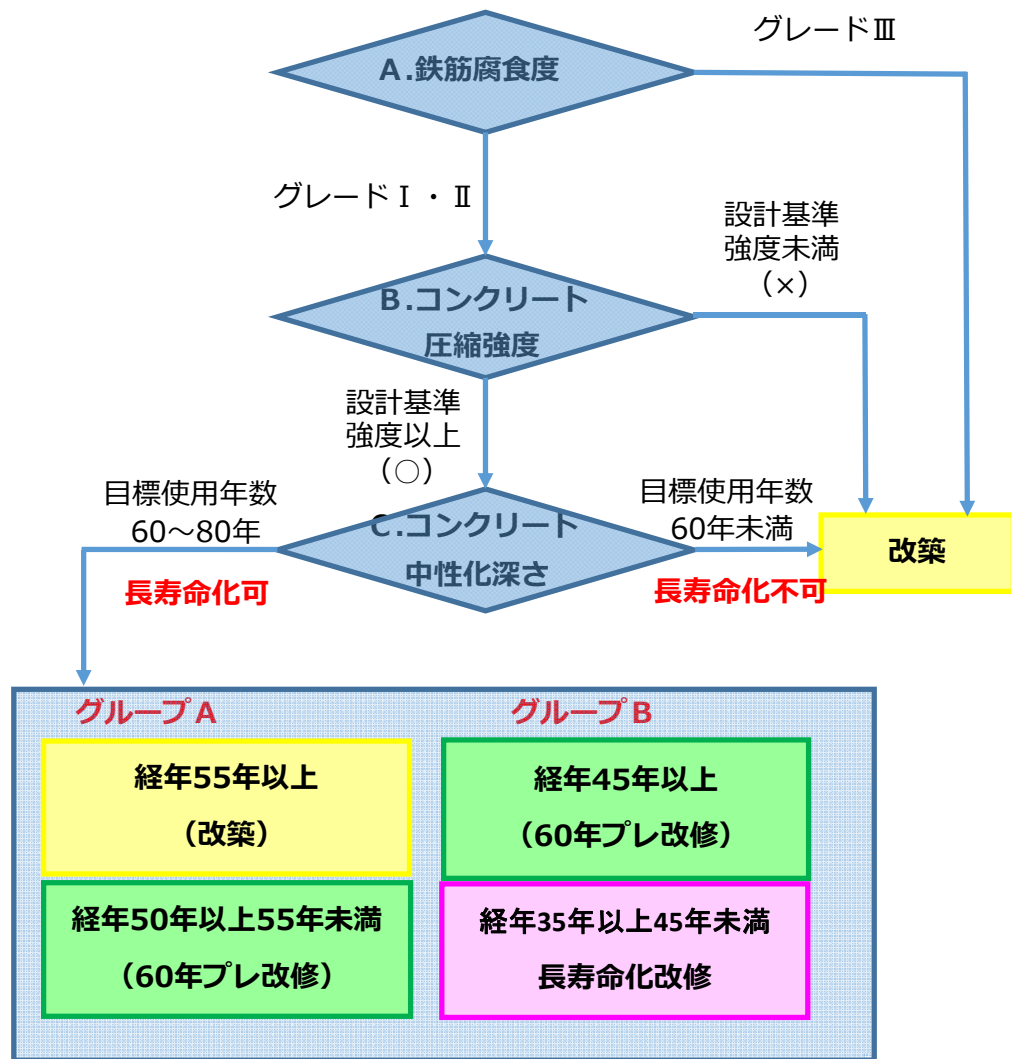
なお、本学特有の課題として、全国に先駆けて昭和56年から昭和63年までの8年間で校舎等25棟について「耐震補強のみ」を実施している。当時は、RC造耐震壁増設や既存RC壁への増し壁（壁を厚くする）による耐震工法が主流であったため、現在のような外部への耐震ブレース等のフレキシブル性を持った改修工法でなかったことを考慮している。

(評価基準)

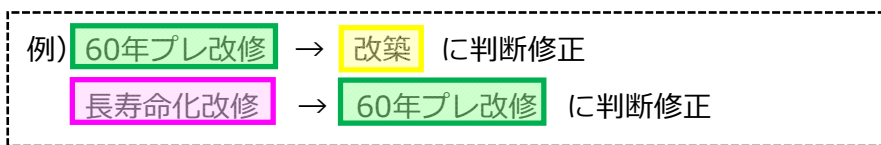
建物内部耐震壁：なし【0点】

建物内部耐震壁：あり【30点】

健全性評価判定フロー



※ 長寿命化可と判断した建物について、[D.目視調査]の結果、顕著な劣化が見られる場合は、フローの判断を安全側に修正することができる。



2. 第3期中期目標・中期計画期間（2016-2021）の個別施設計画

(1) 計画の考え方（対策の優先順位、個別施設の状況等）

静大行動計画では、第3期中期目標・中期計画期間における個別施設計画はキャンパスマスタープラン2016-2021の計画を基本として、個別施設計画とすることとしている。

この計画では、今後の第4期中期目標・中期計画期間を見据え、この期間中にリスク解消すべき下記の事項を柱とし、計画を実施していく。

なお、この計画は、本学のファイナンシャルプランに沿った学内経費やスペースチャージ費などの学内で了承された財源及び、（独）大学改革支援・学位授与機構からの施設費交付金を勘案し計画している。

【この期間中の3つのリスク解消事項】

- ① 老朽化した空調設備の更新（省エネルギー化）
- ② アスベスト処理（健康リスクの解消）
- ③ 井戸・給水系統の健全化（教育・研究停止リスクの解消、財政健全化）

（2）2016-2021個別施設計画表

この計画には、前記の3つのリスク解消を図るとともに、建物の基本的性能維持のため「屋上防水改修」、「外壁改修」、「エレベータ設備更新」などが計画されている。また、今期の個別施設計画に限っては、すでにマスタープラン上の職員宿舎整備が計画されていることから、長寿命化計画の対象外ではあるが、広沢宿舎の外壁、屋上防水、浴槽・風呂釜更新、給水配管、受水槽更新等も含まれている。

これらの計画を『**表1. 2016-2021個別施設計画表**』として取りまとめた。

3. 第4期中期目標・中期計画期間以降（2022-）の個別施設計画

（1）2022-個別施設計画（案）

ここでは、静大行動計画で示した第4期中期目標・中期計画期間以降の個別計画（案）について、**現段階での準備状況や考え方、来期以降の施設整備予算確保についての課題などを共有するために先行して作成**したものである。

次期の個別計画策定は、原則として判断フローに基づき仕分けることにより、建物個別の整備方針を決定した。経年35年以上となる建物については、老朽度合いを評価するために策定した『静大モデル』にて設定する「健全性評価指標」により、建物の構造躯体が健全であり長期に使用することが可能と判断した場合に『長寿命化改修』を行う。なお、経年の状況によっては、『長寿命化改修』を行わず、『60年プレ改修』又は『改築』の判断をする。

また、健全性評価指標により仕分けた結果、同じ判断となった建物については、『静大モデル』にて設定する「機能・性能等評価指標」により、「優先順位」を決定する。

これらの計画を『**表2. 第4期中期目標・中期計画期間以降（2022-）個別施設計画表（案）**』に示す。

（2）静大モデル①：長寿命化改修の可・不可の判断「健全性評価」

静大行動計画において、長寿命化改修の可・不可の判断をする指標として静大モデルの一つである「健全性評価」を設定している。現在（2019年3月）、第4期中期目標・中期計画期間（2022年度）以降の計画を詳細に策定するため、評価の対象となる築後35年以上経過している建物56棟のうち、先行して6棟の評価を完了している。今後、残りの50棟については、2019、2020年度に評価を行い、次期フォローアップ（2021年度）に繋げる。

これらの現在の状況を『**表3. 静大モデル①：長寿命化改修の可・不可の判断「健全性評価」**』に示す。

(3) 静大モデル②：個別施設の状況及び対策の優先順位の考え方「機能・性能等評価」

静大行動計画において、寿命化可否判定フローで判断した整備の優先順位を決定する指標として静大モデルの一つである「機能・性能等評価」を設定している。現在（2019年3月）、第4期中期目標・中期計画期間（2022年度）以降の計画を詳細に策定するため、評価の対象となる長寿命化可否判定フローで「長寿命化改修」、「60年プレ改修」、「改築」と判断された経年35年以上の建物全てについて、評価を行い、次期フォローアップ（2021年度）に繋げる。

これらの現在の状況を『表4.静大モデル②：個別施設の状況及び対策の優先順位の考え方「機能・性能等評価」』に示す。

(4) 本学における施設整備の課題

～100周年計画、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去～

第4期中期目標・中期計画期間以降の個別計画を策定していく際には、下記に示す主要団地となる、静岡、浜松キャンパスの課題を念頭に策定していく必要がある。

機能転換・用途変更、複合化、廃止・撤去については、長期的なビジョンを見据え計画に盛り込み、特に廃止・撤去については、今後、少子化に対する何らかの大学方針が示される際に本格的に議論する必要がある。

◆静岡キャンパスの課題

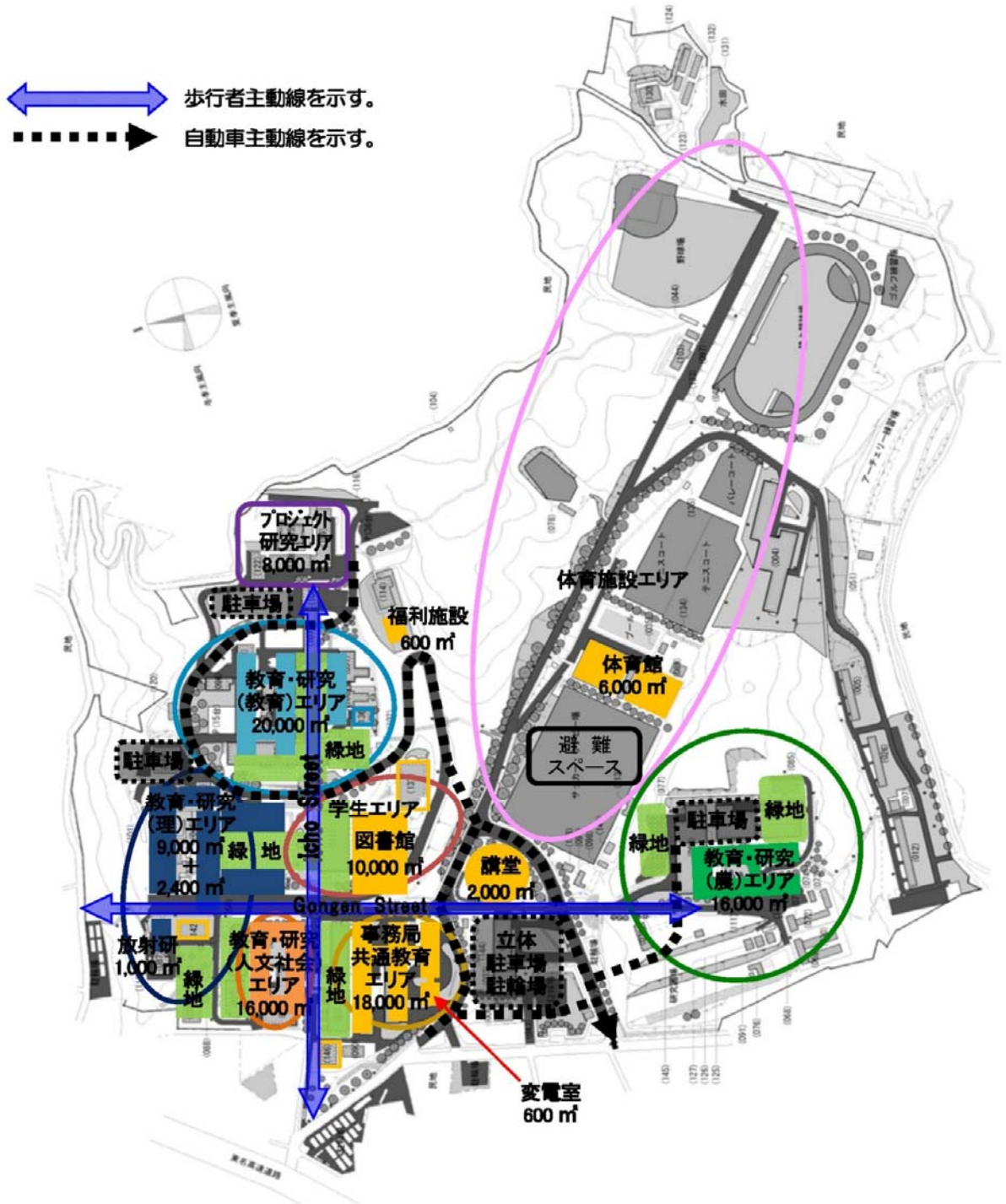
- ①最大高低差は約62m起伏に富んだ地形により、移動時間が掛かることから、コンパクトなキャンパスとする必要がある。
- ②人文社会科学部が2ヶ所に分散配置されている。
- ③静岡キャンパス学生縦主動線がクランクしている。
- ④建物の仕上げ及びライフラインの老朽化により、給排水の漏水、外壁コンクリートの剥落などが発生している。
- ⑤人の主動線と自動車動線が重なっている部分が多い。
- ⑥これまで耐震補強のみの改修を行ってきたことから、建物の仕上げ及びライフラインが著しく老朽化している。



◆静岡キャンパスの整備目標

1. キャンパス建物群を6階程度の高層化、集約配置・コンパクト化を図る。(①、②)
2. 人文社会科学部を1ヶ所に集約させる。(③)
3. 静岡キャンパス学生縦主動線を直線となるように再配置を行うとともに、人・自動車の区分を行う。(④、⑤)
4. 改築整備において、老朽施設の改善を図るとともに、効率化のための統合化・集約化計画を基本とし、保有面積の抑制を図る。(⑥)

◆ 100周年（2049年）静岡キャンパスの計画



◆ 浜松キャンパスの課題

- ①工学部の建物が分散している。
- ②情報学部がメイン道路に面していない。
- ③1995年（平成7年）の教養部廃止に伴い、浜松キャンパスの学生数は約2,000人増加したことにより、附属図書館浜松分館の学生等自学自習スペース、書籍保管スペースの狭隘化が顕著な状況である。
- ④保健センター・学生食堂についても、学生数が増加したことによる狭隘化が顕著な状況である。
- ⑤緑地が少なく、大学らしい外部パブリックスペースの充実が望まれる。

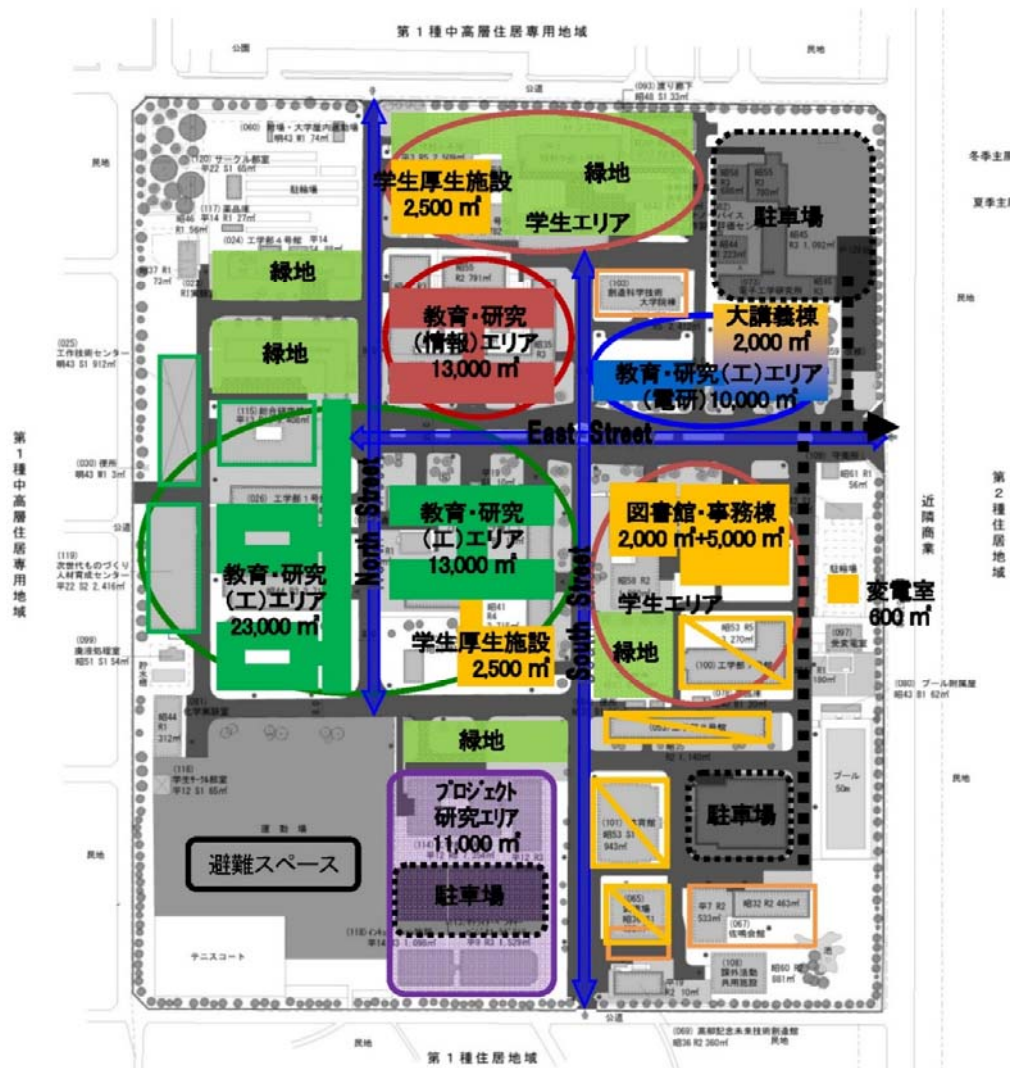


◆浜松キャンパスの整備目標

1. キャンパス建物群を6階程度の高層化、集約配置・コンパクト化を図る。また、改築整備の際には、効率化のための統合化・集約化計画を基本とし、保有面積の抑制を図る。
(①)
2. 情報学部をメイン通路に面した位置に配置する。(②)
3. 附属図書館浜松分館エリアを再開発〔H26.30に整備完了済〕し、学生支援スペース、保健センター、学生食堂等の拡充を図る。(③、④)
4. 敷地北側及び附属図書館西側を緑地化する。(⑤)
5. 改築整備において、効率化のための統合化・集約化計画を基本とし、保有面積の抑制を図る。(⑥)

◆100周年(2049年)浜松キャンパスの計画

- ⇔ 歩行者主動線を示す。
●●●●● 自動車動線を示す。



4. 施設整備費補助金による整備要求 ～築40年目長寿命化改修及び改築整備～

静大行動計画において設定した「計画期間6年間」のバックデータである40年間の「全体計画」に基づき、施設整備費補助金による整備としている「築40年目の長寿命化改修」及び「築80年目の改築」について、第4期中期目標・中期計画期間（2022年度）以降の40年間についての「概算要求」を予定している整備を『表5.施設整備費補助金による整備』として取りまとめた。なお、同一年に整備が重なっている建物については、行動計画に示した静大モデルにおける評価「機能・性能等評価」による指標を用い優先順位を判断している。

なお、この評価にて同点数の場合は、①建設後の経年が多い建物を優先、②教育・研究施設を優先させる、③面積の大きい建物、の順で優先順位を判断する。また、大学改革や改組、新たな取り組みなどによっては、これに定めることとは別に柔軟に対応する。

V. フォローアップ計画

静岡大学の「個別施設計画」は、国立大学法人中期目標・中期計画期間毎に計画期間と設定しているため、中期目標・中期計画期間の最終年度に、対応状況等についてフォローアップを行うこととする。

なお、今期の本計画には、次期計画に当たる第4期中期目標・中期計画期間以降（2022年度-）の策定を行うための方向性や課題等を記載しており、今期（2021年度）のフォローアップに繋げることとしている。

（主なフォローアップ事項）

1. 計画期間内の整備実施状況の確認、次期計画に当たっての課題等整理
（整備実施状況に遅延があるようであれば、その要因を分析し、次期計画にて修正する。）
2. 次期計画を立てる上で新たに必要な点検・診断や基準の整備や見直し
3. 次期計画期間における財源の裏付け、確定

■表1. 2016-2021個別施設計画表

| 整備事項 | 所在地 | 建物名称 | 2016年度 (H28年度) | 2017年度 (H29年度) | 2018年度 (H30年度) | 2019年度 (H31年度) | 2020年度 | 2021年度 | 各整備 事業費計 | |
|--------------------------------------------|-----|---------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|--------|-------------|--|
| 屋上防水改修 | 大谷 | 人文社会科学部 C 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 D 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 C 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 大学会館 | | | | | | | | |
| | 藤府町 | 多目的教室棟 (静岡小学校) | | | | | | | | |
| | 城北 | 工学部 6 号館 | | | | | | | | |
| | 城北 | イノベーション社会連携推進機構棟 (PH) | | | | | | | | |
| | 城北 | 南会館 (1F PH) | | | | | | | | |
| | 藤枝 | 藤枝フィールド管理・学生宿泊施設 | | | | | | | | |
| 外壁改修 | 大谷 | 人文社会科学部 C 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 本部管理棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 文化系サークル施設 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 体育系サークル施設 | | | | | | | | |
| 照明設備更新 | 城北 | 体育館 | | | | | | | | |
| 空調設備更新 | 大谷 | 法科大学院 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 A 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 理学部 A 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 総合研究棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 本部管理棟 | | | | | | | | |
| | 城北 | 工学部 3 号館 | | | | | | | | |
| | 城北 | 工学部 4 号館 | | | | | | | | |
| | 城北 | 工学部 7 号館 | | | | | | | | |
| | 城北 | 情報学部 1 号館 | | | | | | | | |
| 消火ポンプ更新 | 大谷 | 教育学部 B 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 I 棟 | | | | | | | | |
| | 藤府町 | 静岡中学校 (普通教室) | | | | | | | | |
| | 藤府町 | 体育館 (静岡中学校) | | | | | | | | |
| エレベータ設備更新 | 大谷 | 附属図書館 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 第 2 食堂 (小荷物昇降機) | | | | | | | | |
| | 大谷 | 中高・管理棟 (小荷物昇降機) | | | | | | | | |
| アスベスト処理 | 大谷 | 教育学部 A 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 B 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 C 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 D 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 教育学部 E 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 A 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 C 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 D 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 共通教育 L 棟 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 放射科学研究施設 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 附属図書館 | | | | | | | | |
| | その他 | 大谷 | 教育学部 A 棟 (便所改修) | | | | | | | |
| | | 大谷 | 教育学部 G 棟 (便所改修) | | | | | | | |
| 大谷 | | 教育学部 H 棟 (便所改修) | | | | | | | | |
| 大谷 | | 共通教育 P 棟 (空気調和設備: 日HP更新) | | | | | | | | |
| 大谷 | | 附属幼稚園、ゆちゆち館 (空気調和設備: GHP) | | | | | | | | |
| 大谷 | | 附属幼稚園、ゆちゆち館 (空気調和設備: GHP) | | | | | | | | |
| 第 3 期中期目標・中期計画期間 (2016-2021) 各年度個別建物 計画予算額 | | | | | | | | | | |

| ライフライン設備名称 | 所在地 | 整備事項 | 2016年度 (H28年度) | 2017年度 (H29年度) | 2018年度 (H30年度) | 2019年度 (H31年度) | 2020年度 | 2021年度 | 各整備 事業費計 | |
|------------|-----------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|--------|-------------|--|
| 自家用電気工作物 | 大谷 | 遮断器 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 変圧器 | | | | | | | | |
| | 駿府町 | 遮断器 | | | | | | | | |
| | 城北 | 遮断器 | | | | | | | | |
| 高圧ケーブル設備 | 大谷 | | | | | | | | | |
| 外灯設備 | 大谷 | | | | | | | | | |
| | 駿府町 | | | | | | | | | |
| | 布橋 | | | | | | | | | |
| | 城北 | | | | | | | | | |
| | 原枝 | | | | | | | | | |
| 井水給水管設備他 | 大谷 | 井水溝溜 (5号井戸) | | | | | | | | |
| | 大谷 | 井水溝溜 (3号井戸) | | | | | | | | |
| | 大谷 | 井水溝溜 (4号井戸 (旧2号井戸系統)) | | | | | | | | |
| | 大谷 | 井戸更新(廃止/新設) (5号井戸 (旧1号井戸系統)) | | | | | | | | |
| | 駿府町 | 井戸ポンプ (静小小学校雑用水用) | | | | | | | | |
| | 駿府町 | 井戸ポンプ (静小小学校プール用) | | | | | | | | |
| | 布橋 | 井戸ポンプ (浜松小学校雑用水用) | | | | | | | | |
| | 城北 | 井戸ポンプ (城北団地プール用) | | | | | | | | |
| | 原枝 | 井戸ポンプ (原枝団地雑用水用 (注意: 売却予定あり)) | | | | | | | | |
| ガス配管設備 | 大谷 | | | | | | | | | |
| その他 | 大谷 | 農学部周辺外構整備 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 設備管理室北側フェンス | | | | | | | | |
| | 大谷 | 案内板改修 | | | | | | | | |
| | 大谷 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 火災受信機: 電 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 防災アンプ: 電 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 計画外建物アスベスト処理 | | | | | | | | |
| | 大谷 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 大谷 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 非常用発電機: 電 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 火災受信機: 電 | | | | | | | | |
| | 大谷 | 計画外建物アスベスト処理 | | | | | | | | |
| | 駿府町 | 静小プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 駿府町 | 静小プール給水: 機 | | | | | | | | |
| | 駿府町 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 駿府町 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 島田 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 島田 | 電話交換機: 電 | | | | | | | | |
| | 布橋 | プール改修: 建 | | | | | | | | |
| | 布橋 | 火災受信機: 電 | | | | | | | | |
| | 布橋 | 計画外建物アスベスト処理 | | | | | | | | |
| | 城北 | 火災受信機: 電 | | | | | | | | |
| | 城北 | 防災アンプ: 電 | | | | | | | | |
| | 城北 | 計画外建物アスベスト処理 | | | | | | | | |
| | その他団地 (小籠団地) | 地下タンクライニング (塗膜剥離) | | | | | | | | |

第3期中間目標・中期計画期間 (2016-2021) 各年度ライフライン 計画予算額

| その他整備事項 | 摘 要 | 2016年度 (H28年度) | 2017年度 (H29年度) | 2018年度 (H30年度) | 2019年度 (H31年度) | 2020年度 | 2021年度 | 各整備 事業費計 |
|-------------------------------------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|--------|-------------|
| 広沢学生会改修 | H33：前払い分 | | | | | | | |
| 農学部改築（補助金不足分） | 申請関係 | | | | | | | |
| 情報学部講義棟とりこわし | | | | | | | | |
| 管理・図書館とりこわし | | | | | | | | |
| 電研安全性確認業務 | | | | | | | | |
| 学園広場階段調査 | 予算要求用 | | | | | | | |
| 県中展示室耐震診断 | | | | | | | | |
| 講義棟改築（補助金不足分） | 設計変更、申請関係 | | | | | | | |
| ライフライン（補助金不足分） | 設計 | | | | | | | |
| LED照明更新計画 | | | | | | | | |
| 空調機工口替え計画 | | | | | | | | |
| 第3期中期目標・中期計画期間（2016-2021）各年度その他整備事業 計画予算額 | | | | | | | | |
| 計画予算 総合計 | | | | | | | | |
| 年度予算合計（兼付けあり財源） | | | | | | | | |

※1. 計画予算は、学内において了承された財源（施設費交付金、学内経費（施設基金経費、スペースチャージ費））を掲載している。

※2. 計画予算は、入札執行によるコスト減を踏まえ、年度予算より多めに設定している。

■表2. 第4期中期目標・中期計画期間以降（2022-）個別施設計画表（案）



◆課題

- ① 第3期中に学内予算として確保されている劣化防止対策経費/年間1.6億では、第4-7期（2022-2045）の長寿命化計画の遂行に支障をきたすため、この期間は、負の遺産を解消する期間ととらえ、集中投資が必要である。
- ② 今後、次期フォローアップまでに行うこととしている「静大モデルによる長寿命化改修の可・不可の判断である「健全性評価」の結果によるが、改築判断（補助金による整備）になる建物が多ければ必要コストは減額方向に向かうことになる。この表は、最大必要金額と考えている。
- ③ 次期フォローアップは、②の状況を勘案し平準化作業を行うこととする。平行して、①のことを視野に入れ、次期ファイナンシャルプランの議論を進めて行く必要がある。

■表3.静大モデル①：長寿命化改修の可・不可の判断「健全性評価」

経年基準 2018

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | 行動計画における基本判断フロー | | | | 健全性評価判定 | | | | |
|--------|-----|------------------|----|-----|----------|------|-----|-----|-----------|-----------------|-----------|----|--|---------------|-----------------------|--------|---------|------|
| 所在地 | 棟番号 | 種名称 | 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | | 築年数 | A. 鉄筋の腐食度 | | | | | B. コンクリート圧縮強度 | C. コンクリート中性化深(目標使用年数) | A-C 判定 | D. 目視調査 | 判定修正 |
| | | | | | 西暦 | 和暦 | | | | | | | | | | | | |
| 大谷 | 1 | 共通教育A棟 | R | 6 | 6,346 | 1967 | S42 | 51 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 2 | 共通教育B棟 | R | 5-1 | 2,209 | 1967 | S42 | 51 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 3 | 共通教育C棟 | R | 8 | 5,415 | 1967 | S42 | 51 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 10 | 体育館 | RS | 2 | 3,027 | 1967 | S42 | 51 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 11 | 附属図書館 | R | 7 | 8,027 | 1968 | S43 | 50 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 18 | 共通教育L棟 | R | 5 | 5,012 | 1968 | S43 | 50 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 20 | 理学部B棟 | R | 3 | 2,400 | 1968 | S43 | 50 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 21 | 理学部A棟 | R | 6 | 5,987 | 1968 | S43 | 50 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 22 | 附属放射科学教育研究推進センター | R | 2 | 724 | 1968 | S43 | 50 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 27 | 教育学部A棟 | R | 6 | 3,778 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 28 | 教育学部B棟 | R | 3 | 3,598 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 29 | 教育学部C棟 | R | 6 | 4,049 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 30 | 教育学部D棟 | R | 3 | 1,119 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 31 | 教育学部E棟 | R | 2 | 801 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 32 | 本館管理棟 | R | 5 | 2,861 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 38 | 第2食堂 | R | 2 | 1,076 | 1970 | S45 | 48 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 87 | 共通教育D棟 | R | 4 | 1,592 | 1973 | S48 | 45 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 100 | 理学部C棟 | R | 6 | 4,144 | 1977 | S52 | 41 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 103 | 体育系サークル施設 | R | 2 | 511 | 1979 | S54 | 39 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 105 | 教育学部G棟 | S | 3 | 1,582 | 1979 | S54 | 39 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 106 | 教育学部H棟 | R | 2 | 522 | 1979 | S54 | 39 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 107 | 教育学部I棟 | R | 4 | 2,066 | 1979 | S54 | 39 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 108 | 法科大学院 | R | 3 | 830 | 1980 | S55 | 38 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 109 | 人文社会科学部A棟 | R | 6 | 4,410 | 1980 | S55 | 38 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 110 | 人文社会科学部B棟 | R | 5 | 2,107 | 1980 | S55 | 38 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 114 | 文化系サークル施設 | R | 3 | 1,202 | 1981 | S56 | 37 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 118 | 教育学部K棟 | R | 5 | 1,837 | 1982 | S57 | 36 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 121 | 理学部D棟 | R | 4 | 863 | 1984 | S59 | 34 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 122 | 人文社会科学部C棟 | R | 4 | 1,234 | 1986 | S61 | 32 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 136 | 教育実践総合センター | R | 3 | 530 | 1993 | H5 | 25 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 137 | 学生会館 | R | 3 | 2,452 | 1993 | H5 | 25 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 142 | 遺伝子実験棟 | R | 4 | 1,528 | 2000 | H12 | 18 | 20年以降改修 → | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 143 | 総合研究棟 | SR | 7 | 5,658 | 2002 | H14 | 16 | 20年以降改修 → | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大谷 | 147 | 農学総合棟 | SR | 6 | 16,260 | 2014 | H26 | 4 | 20年以降改修 → | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大岩 | 1 | 小字坂 | R | 1 | 516 | 1975 | S50 | 43 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大岩 | 2 | 中富・管理棟 | R | 2 | 1,785 | 1975 | S50 | 43 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 大岩 | 13 | 富舎 | R | 1 | 623 | 1979 | S54 | 39 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 5 | 静岡中学校 | R | 3 | 3,423 | 1956 | S31 | 62 | - | - | - | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 12 | 静岡小学校 | R | 3 | 2,470 | 1956 | S31 | 62 | - | - | - | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 23 | 静岡中学校 | R | 2 | 843 | 1966 | S41 | 52 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 24 | 体育館 | RS | 1 | 1,021 | 1969 | S44 | 49 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 25 | 静岡小学校 | R | 3 | 2,321 | 1971 | S46 | 47 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 27 | 体育館 | RS | 2 | 890 | 1972 | S47 | 46 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 駿府町 | 41 | 多目的教室棟 | R | 3 | 1,266 | 1988 | S63 | 30 | - | 40年長寿命化 → | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 島田 | 25 | 体育館 | RS | 1 | 683 | 1965 | S40 | 53 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 島田 | 26 | 島田中学校 | R | 3 | 3,525 | 1966 | S41 | 52 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 布橋 | 72 | 浜松小学校 | R | 3 | 3,578 | 1965 | S40 | 53 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |
| 布橋 | 73 | 体育館 | RS | 2 | 966 | 1966 | S41 | 52 | - | - | 60年以降改修 → | 改修 | | | | | | |

| | | | | | | B. 建物機能劣化評価 | | | | | C. 地域重要度評価 | | D. 機能・性能向上度評価 | | 合計点 | |
|--------------------|----|-----------------|----|------|----|-------------|--------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------------------------------------|-------------|--------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------------|
| 給排水設備 | | その他設備 (便所改修) | | 消防点検 | | 点 数 計 | ① 過去 3年 の 平均 修 繕 費 (円) | H27 (円) | H28 (円) | H29 (円) | ① ÷ 面 積 (円 / ㎡) | 点 数 計 | 避 難 所 指 定 の 有 無 | 点 数 | | 建 物 内 部 耐 震 の 有 無 |
| 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | | | | | | | | | | | |
| [Redacted Content] | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | B. 建物機能劣化評価 | | | | C. 地域重要度評価 | | D. 機能・性能向上度評価 | | 合計点 | | |
|--------------------|----|-----------------|----|------|----|-------------|---------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------------------------------------|---------------|--------------------------------------|-----|--------|-------------------------------------------|
| 給排水設備 | | その他設備 (便所改修) | | 消防点検 | | 点 数 計 | ① 過 去 3 年 修 繕 費 平 均 (円) | H27 (円) | H28 (円) | H29 (円) | ① ÷ 面 積 (円 / ㎡) | 点 数 計 | 避 難 所 指 定 の 有 無 | | 点 数 | 建 物 内 部 耐 震 の 有 無 |
| 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | | | | | | | | | | | |
| [Redacted Content] | | | | | | | | | | | | | | | | |

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上

| 建物基本情報 | | | | | | | | |
|--------|-----|------------------|----|----|----------|------|-----|-----|
| 団地名 | 棟番号 | 棟名称 | 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | | 築年数 |
| | | | | | | 西暦 | 和暦 | |
| 城北 | 85 | 附属図書館分館・学生支援棟 | R | 3 | 6,817 | 2014 | H26 | 4 |
| 城北 | 91 | 情報学部1号館 | R | 6 | 3,377 | 1973 | S48 | 45 |
| 城北 | 98 | 北会館 | R | 2 | 1,037 | 1974 | S49 | 44 |
| 城北 | 100 | 工学部7号館 | R | 5 | 3,270 | 1978 | S53 | 40 |
| 城北 | 101 | 体育館(浜松) | RS | 1 | 943 | 1978 | S53 | 40 |
| 城北 | 102 | 南会館 | R | 2 | 1,855 | 1979 | S54 | 39 |
| 城北 | 103 | 創造科学技術大学院棟 | R | 5 | 2,412 | 1979 | S54 | 39 |
| 城北 | 108 | 課外活動共用施設 | R | 2 | 881 | 1985 | S60 | 33 |
| 城北 | 111 | 工学部6号館 | R | 5 | 2,509 | 1991 | H3 | 27 |
| 城北 | 112 | 情報学部2号館 | SR | 8 | 9,137 | 1997 | H9 | 21 |
| 城北 | 113 | イノベーション社会連携推進機構棟 | R | 3 | 2,688 | 1997 | H9 | 21 |
| 城北 | 114 | 工学部5号館 | SR | 8 | 8,332 | 2000 | H12 | 18 |
| 城北 | 115 | 総合研究棟(浜松) | SR | 10 | 9,408 | 2001 | H13 | 17 |
| 城北 | 119 | 次世代ものづくり人材育成センター | S | 2 | 2,429 | 2010 | H22 | 8 |
| 城北 | 121 | 光創型イノベーション研究拠点棟 | R | 5 | 3,505 | 2014 | H26 | 4 |
| 城北 | 122 | 共通講義棟 | R | 5 | 1,507 | 2017 | H29 | 1 |
| 藤枝 | 9 | 藤枝フィールド管理・学生宿泊施設 | R | 3 | 1,286 | 1973 | S48 | 45 |

| A. 法12条点検等評価 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------|-------|------------|---------|---------------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 屋根・屋上 | 外(外壁等)部 | 外部開口部 | 外(地盤等)部その他 | 内(躯体等)部 | 格(既存不通)の内部その他 | 電気設備 | 評価 | | 評価 | | 評価 | | 評価 | |
| | | | | | | | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 |
| | | | | | | | | | | | | | | |

【点検評価点】(評価基準)

- A: 健全な状態で良好、安全上、機能上に大きな問題なし【0点】
 - B: 安全上機能上、低下の兆しがある【1点】
 - C: 安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある【2点】
- ※満点は2点×10項目=【20点】

| | | | | | | B. 建物機能劣化評価 | | | | | C. 地域重要度評価 | | D. 機能・性能向上度評価 | | 合計点 | | |
|-------|----|-----------------|----|------|----|-------------|-------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------------------------------------|-------------|--------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------------|--------|
| 給排水設備 | | その他設備 (便所改修) | | 消防点検 | | 点 数 計 | ① 修 繕 費 平 均 (円) | H27 (円) | H28 (円) | H29 (円) | ① ÷ 面 積 (円 / ㎡) | 点 数 計 | 避 難 所 指 定 の 有 無 | 点 数 | | 建 物 内 部 耐 震 の 有 無 | 点 数 |
| 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | 評価 | 点数 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【修繕費】(評価基準)

- A: 1,500円/㎡未満【0点】(500円×3年)
- B: 1,500円/㎡以上3,000円/㎡未満【10点】(1,000円×3年)
- C: 3,000円/㎡以上4,500円/㎡未満【20点】(1,500円×3年)
- D: 4,500円/㎡以上【30点】

【避難所指定】(評価基準) 【建物内部耐震壁の有無】(評価基準)

- 避難所指定: なし【0点】
- 避難所指定: あり【20点】
- 建物内部耐震壁: なし【0点】
- 建物内部耐震壁: あり【30点】

■表5.施設整備費補助金による整備

| 中期目標・ 中期計画期間 | | 40年長寿 命化/80年 改築 | 団地名 | 棟番号 | 棟名称 | 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | | 概算整備費用 (千円) | 整備予定 年度 | 機能・性能等評価 (100点満点) |
|-----------------|-------------|-----------------------|-----|-----|-----|----|----|-------------|------|----|----------------|------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 西暦 | 和暦 | | | |
| 第4期 | 2022 - 2027 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| 第5期 | 2028 - 2033 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| 第6期 | 2034 - 2039 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| | | 80年 改築 | | | | | | | | | | | |
| 第7期 | 2040 - 2045 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| | | 80年 改築 | | | | | | | | | | | |

| 中期目標・ 中期計画期間 | | 40年長寿 命化/80年 改築 | 団地名 | 棟番号 | 棟名称 | 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | | 概算整備費用 (千円) | 整備予定 年度 | 機能・性能等評価 (100点満点) |
|-----------------|-------------|-----------------------|-----|-----|-----|----|----|-------------|------|----|----------------|------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 西暦 | 和暦 | | | |
| 第8期 | 2046 - 2051 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| | | 80年 改築 | | | | | | | | | | | |
| 第9期 | 2052 - 2057 | 40年 長寿命化 | | | | | | | | | | | |
| | | 80年 改築 | | | | | | | | | | | |
| 第10期 | 2058 - 2063 | 80年 改築 | | | | | | | | | | | |



2019年1月28日 施設・環境マネジメント委員会 承認

2019年3月28日 役員会 承認